

一人でも多くの方に 交通安全教育を拡大



一人でも多くの方の安全を守りたいという考えのもと、交通安全の普及拡大努めております。普及活動の「場と機会」を拡大するため、異業種との連携に取り組むなど、子どもから大人までより多くの方々に安全意識を高めてもらうことを目的に様々な場所で交通安全教育を展開しています。

他業種との協働展開による 交通安全活動の拡大

以前から学校や公民館での交通安全教室などは広く行われてきましたが、Hondaでは全国での交通安全活動を行う場と機会を増やしたいと考え、他業種との協働による取り組みを模索しました。

イオンバイク(株)は全国に300店以上の店舗を展開する自転車専門店、お客様と自転車の安全・安心を追求しており、同社とHondaは同じ想いを持っていることから連携することとなりました。両社の強みを持ち寄ることで、互いにはない部分を補完し、活動をより充実させることが目的です。イオンバイクが集客やスタッフなど「場と機会の提供」、そして専門スタッフによる自転車の点検、Hondaが指導方法など「ノウハウの提供」を担い、9月に「親子で学ぶ 自転車乗り方教室(以下、教室)」(後援:さいたま市)をイオンモール浦和美園(埼玉県さいたま市)で開催しました。対象は補助輪を外すことを検討していたり、補助輪無しでは走行に不安がある子どもと、その保護



イオンバイクとHondaによる「親子で学ぶ 自転車乗り方教室」

者。この教室の目的は子どもが時間内で自転車に乗れるようにすることではなく、発進する前に右後方を確認する、両手でブレーキをかけて停止できるようになるなど、安全行動の必要性を保護者に伝えることに重点を置いています。そして、教室では保護者が先生役となることで、家庭でも引き続き、親子で練習できるようにしています。

今回は39名の子どもが参加し、保護者からは「私たちでは気づけない安全の観点での指導も盛り込まれていて、ありがたい」という感想が聞かれました。イオンバイク(株)取締役営業企画本部長の矢部勝己さんは「私たちは自転車を販売するだけでなく、お客様に安全に楽しく利用していただくための提案をしていきたいと考えています。今回参加したスタッフが身につけた自転車教育のノウハウを関東圏から全国の店舗へと広げていきたい」と話しています。こうしたイオンバイクの取り組みにHondaも協力していく予定です。

Honda Carsとの連携による 交通安全教育の「場と機会」の拡大

埼玉県内のHonda Cars(四輪販売会社)で構成する埼玉県ホンダ会はHondaとの共催で、国営武蔵丘陵森林公園(埼玉県滑川町)のイベント「Outdoor Park in 森林公園」の中で、Hondaの交通安全教育プログラム「あやとりい」などを使った幼児・児童向けの交通安全教室を実施しました。埼玉県ホンダ会会長の田口忍さんは、「大勢の人が集まるイベントで交通安全教室を実施することによって、一人でも多くのお客様に交通安全に目を向けていただけますし、私たちHonda Cars全体の交通安全に対する意識も高まると考えました」と開催の意義を話しています。今後も、地域に密着した交通安全教育の新たな「場と機会」の拡大にチャレンジしてまいります。

交通安全の動画やポスターを募集し 参加者の安全意識醸成をめざすコンテストを実施

昨年に引き続き、今年も7月から9月にかけてHondaのホームページで交通安全の動画やポスターを一般の方々から募集しました。第2回となる今回のテーマは「みらいの交通社会〜いろいろな乗り物を運転する人や歩く人、またはクルマやバイク、自転車がこうなったらもっと安全になるのでは?〜」ということを30秒の動画やポスターとして表現してもらい、コンテストを実施しました。コンテストに参加することで少しでも交通安全について考え、自ら安全な行動を意識してほしいという想いのもとに開催しています。入選作品は、Hondaのホームページで公開しています。



「親子で学ぶ 自転車乗り方教室」での発進前の右後方の確認などに重点を置いた基本練習



埼玉県ホンダ会による国営武蔵丘陵森林公園での交通安全教室



ポスターの部・大賞



動画の部・大賞